

分野	補完的な道路の整備			事業番号	86	事業名	県単道路改築				
市町村名	宮田村	ふりがな 箇所名	(一) 栗林宮田停車場線 <small>(のばやしみやたていしゃじょうせん)</small>		かわらまぢりがし 河原町東	事業年度 <small>(完了年度は見込み)</small>	年度 ~	年度			
事業概要	計画概要 <small>(延長・幅員・面積・工種など)</small>	道路拡幅工 L = 370m W = 5.5(9.25)m				H23年度末事業進捗率	0 %				
	H24年度以降降実施内容	同上				本工事費等ベース	0 %				
	H24年度実施内容	-				用地補償費ベース	0 %				
	年度	全体事業費	H22年度まで	H23年度	H24年度	H24年度以降降					
財源内訳	事業費計(千円)	170,000	0	0	0	170,000					
	国庫支出金	0	0	0	0	0					
	その他										
	県債	153,000	0	0	0	153,000					
	一般財源	17,000	0	0	0	17,000					
箇所評価	観点	評価項目・指標等			評価		ランク	評点			
	必要性 (30)	計画交通量	4,000台/日以上		1,500台以上~4,000台/日未満	1,500台未満	B	2			
		代替道路	唯一の道路である		代替となる道路がある			0			
		ネットワーク (道路網)	バス路線である		B 駅やICなどに通じる または 役場と交通結節 点や支所などを結ぶ路 線			A及びBに該当しない		3	
			ボトルネック箇所		ボトルネック箇所でない					4	
		観光地に通じる道路		観光地に通じる道路ではない				2			
		各事業特有の必要性(安全の確保)	4.0m未満又は30m未満 又は8%以上(幅員、半 径、勾配)		4.0m以上5.5m未満(幅 員)	5.5m以上(幅員)		0			
			自動車と自転車・歩行 者との分離を図る		歩道はあるが不十分で あるものを再整備			自動車と自転車・歩行 者との分離がなされてい ない		4	
		他事業との関連		河川改修、新幹線、高 速道などの事業に関連 して実施				0			
	小 計						15				
	重要性 (10)	設計上の環境・景観配慮	環境・景観配慮がされ 確実性が高い		環境・景観配慮がされて いるが確実性が低い	環境・景観配慮をしてい ない	B	3			
		地域の法的な位置付け	緊急輸送路(1次)に位 置付けられている		緊急輸送路(2次)又は、振興山村、積雪 地域、過疎地域、地震防災対策強化地 域、観光圏整備実施計画認定地域に位 置付けられている	特別な位置づけはない		3			
		小 計						6			
	効率性 (20)	費用対効果	B / C (3便益) 1.0以上		B / C (3便益) 1.0未満 (3便益以外の観点から一 定の効果が得られる)	B / C (3便益) 1.0未満	B	3			
		事業効果の早期発現 (H24以降降事業年数)	事業年数 3年以内		事業年数 4年~5年以内	事業年数 6年以上		5			
		コスト削減	全体的に構造物・規格等につ いてコスト削減を実施してい る。		部分的に構造物・規格等につ いてコスト削減を実施してい る。	コスト削減はしていない		5			
		小 計						13			
	緊急性 (20)	安全性の向上	交通事故や落石等の危険 箇所の安全を向上させる		交通事故や落石等の危険箇 所指定はないが安全を向上さ せる	交通事故や落石等の危険が ない	B	6			
		各事業特有の緊急性(医療・福祉)	医療・福祉の連携が発揮 できる道路(ネック箇所の 解消)		医療・福祉の連携が発揮 できる道路(円滑化が図れ る)	医療・福祉の連携に関係 ない道路		6			
		小 計						12			
計画 熟度 (20)	地域からの要望	地域住民の内発的な要 望が強い		市町村からの要望	特に要望がない	B	7				
	事業情報の共有	関係者以外に広く周知		関係者中心に周知	特に周知していない		0				
	住民参加の状況	住民が計画策定に直接 参加		住民や市町村の意見を 計画策定に反映	特に住民意見は反映し ていない		4				
	小 計						11				
費用対効果(B / C)		1.3		評価の合計		B	57				
事業周 辺環境	事業実施に至る歴 史的経緯・社会的 背景	当該地区は、駒ヶ根市竜東地区から伊那市街地を結ぶ道路であり、朝夕に交通量が多くなり、宮田中学校への通学路と重なるため、歩行者の安全確保をおこなう必要がある。									
	地域からの要望経 緯	地域からは、毎年事業採択の要望が上がっている箇所。平成23年3月に歩道設置を求める要請書が提出される。(村民の3割以上の3124人の署名)									
	事業説明等の経緯	事業実施の目処が立ち次第説明に入る予定。									
	環境・景観への配 慮項目	一部区間において道路と民地との高低差があるので、当該区間は地権者等の協力を得ながら極力土羽構造とする。									
	他事業・プロジェクト との関連	特になし。									
特記事項	H23年5月に緊急通学路点検実施。										
地域の合意形成	全員賛成	概ね賛成	過半数賛成	動向不明	その他						
部意見	評価レベルが低いため、事業化を見送りたい。			政策評価課 意見	計画熟度がやや低い。						